

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	新人職員にケアの本質を理解してもらい、現職員も共に、ケアの質を更に高める。	基本的な認知症を理解してもらい。実践では、実際の症状に即したケアを学び、他の職員と共に協力し、向上していく。	入社して2～3ヶ月の期間に、新入職員のホーム内で認知症の理解の研修を講義式で、スライドを用いながら、分り易く行っている。また、実践では、チームでその都度状態に合わせた、個別のケアの対応を理解してもらっている。対応する職員も共に基本を振り返って学ん	6ヶ月
2	27	BPSDが出現した時の対応の仕方。	その人らしさを保ち、思いに添ったケアで、BPSDを軽減する。	個別の生活歴や、気質、環境などを、申し送りノートで確認しておく。出現する時の言葉や行動を記録しておき、変化がある時は、カンファレンスを行い対応する。対応後は必ずその様子を記録し、情報を共有する。優しく寄り添うようにしていく。	6ヶ月
3	19	ご利用者の家族の面会が少なく、関わりが少ない。来られる家族と来られない家族の差がある。	気軽にホームに面会に来て、御利用者の方々と交流をしてもらい、ホームでのケアの状況を確認され、職員の交流の場にもしていく。	運営推進会議に出席してもらう様に、サービス担当者会日の時に声をかける。また、日頃の現状を説明して、家族の面会の重要性と、気軽に訪問できる環境作りに心がけている。入居前の本人と家族の関係性を考慮する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。